



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月10日

上場会社名 関東電化工業株式会社

上場取引所

東

コード番号 4047

URL <https://www.kantodenka.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長谷川 淳一

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長

(氏名) 上原 佳浩

TEL 03-4236-8804

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	19,774	30.6	3,979	410.7	4,573	515.5	3,235	509.3
2026年3月期第1四半期	15,143	△2.0	779	△38.5	743	△61.3	531	△54.5

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 4,346百万円(— %) 2026年3月期第1四半期 △335百万円(— %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	56.41	—
2026年3月期第1四半期	9.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	140,726	77,941	54.1	1,326.97
2026年3月期	131,314	74,249	55.1	1,262.29

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 76,106百万円 2026年3月期 72,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	42,200	36.8	6,600	709.6	6,600	578.7	4,400	—	76.72
通期	95,000	45.3	11,300	106.2	11,300	70.4	7,600	100.8	132.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年3月期1Q	57,546,050株	2026年3月期	57,546,050株
2027年3月期1Q	192,101株	2026年3月期	192,101株
2027年3月期1Q	57,353,949株	2026年3月期1Q	57,457,567株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	8
(セグメント情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や個人消費、設備投資の持ち直し等を背景に、緩やかな回復基調で推移したものの、依然として厳しい状況が続きました。海外においては、世界経済の緩やかな持ち直しが続く一方で、中東情勢の影響や金融資本市場の変動等に留意する必要があるとあり、先行き不透明な状況が続きました。

このような事業環境のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、主に精密化学品事業部門が増収となったため、197億74百万円と前年同期に比べ46億31百万円、30.6%の増加となりました。損益につきましては、原燃料価格は大幅に上昇したものの、精密化学品事業の増収効果により、経常利益は45億73百万円と前年同期に比べ38億30百万円、515.5%の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は32億35百万円と前年同期に比べ27億4百万円、509.3%の増加となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

① 基礎化学品事業部門

無機製品につきましては、か性ソーダは、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。塩酸は、販売数量の増加と価格修正効果により、前年同期に比べ増収となりました。

有機製品につきましては、トリクロールエチレンは、販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。パークロールエチレンは、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業部門の売上高は、20億82百万円となり、前年同期に比べ1億18百万円、6.0%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益71百万円となり、前年同期に比べ32百万円、81.9%の増加となりました。

② 精密化学品事業部門

半導体用特殊ガス類につきましては、三フッ化窒素は、価格修正効果はあったものの販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。六フッ化タングステン、販売数量は減少したものの価格修正効果により、前年同期に比べ増収となりました。ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエンは、前年同期並みの売上高となりました。硫化カルボニルは、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。

電池材料の六フッ化リン酸リチウムは、販売数量の増加と価格修正効果により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、精密化学品事業部門の売上高は、165億18百万円となり、前年同期に比べ45億75百万円、38.3%の増加となりました。営業損益につきましては、原燃料価格は大幅に上昇したものの、増収効果により、営業利益37億52百万円となり、前年同期に比べ31億75百万円、549.7%の増加となりました。

③ 鉄系事業部門

複写機・プリンターの現像剤用であるキャリアーは、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。鉄酸化物は、着色剤の販売増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、鉄系事業部門の売上高は、5億50百万円となり、前年同期に比べ17百万円、3.3%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益1億4百万円となり、前年同期に比べ36百万円、54.2%の増加となりました。

④ 商事事業部門

商事事業につきましては、化学工業薬品の販売増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、商事事業部門の売上高は、2億9百万円となり、前年同期に比べ34百万円、19.5%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益39百万円となり、前年同期に比べ10百万円、20.6%の減少となりました。

⑤ 設備事業部門

化学設備プラントおよび一般産業用プラント建設の売上高は、請負工事の減少により、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、設備事業部門の売上高は、4億12百万円となり、前年同期に比べ1億14百万円、21.7%の減少となりました。営業損益につきましては、営業損失15百万円となりました。（前年同期は営業利益46百万円）

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産は、現金及び預金が減少した一方、棚卸資産、投資有価証券や受取手形、売掛金及び契約資産が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ94億11百万円増加し、1,407億26百万円となりました。

負債は、借入金や支払手形及び買掛金が増加したことなどから57億19百万円増加し、627億84百万円となりました。

純資産は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことなどから36億92百万円増加し、779億41百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末の55.1%から54.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、2026年5月15日付にて公表しました業績予想を修正しております。詳しくは、別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,220	18,650
受取手形、売掛金及び契約資産	17,644	19,669
電子記録債権	1,186	1,337
商品及び製品	6,590	9,197
仕掛品	7,666	8,806
原材料及び貯蔵品	6,921	9,808
その他	4,244	5,515
貸倒引当金	△31	△33
流動資産合計	64,442	72,952
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,452	18,279
機械装置及び運搬具（純額）	22,805	21,712
建設仮勘定	5,651	5,573
その他（純額）	5,851	5,808
有形固定資産合計	52,760	51,373
無形固定資産	693	718
投資その他の資産		
投資有価証券	12,184	14,464
退職給付に係る資産	6	5
その他	1,238	1,222
貸倒引当金	△10	△11
投資その他の資産合計	13,417	15,681
固定資産合計	66,871	67,773
資産合計	131,314	140,726

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,740	7,420
電子記録債務	1,620	3,816
短期借入金	2,569	7,250
1年内返済予定の長期借入金	9,399	9,128
未払法人税等	1,191	1,701
災害損失引当金	92	91
その他	5,121	5,396
流動負債合計	27,734	34,805
固定負債		
長期借入金	27,314	25,441
繰延税金負債	1,048	1,461
役員退職慰労引当金	168	171
役員株式給付引当金	56	61
退職給付に係る負債	214	270
その他	528	572
固定負債合計	29,330	27,978
負債合計	57,064	62,784
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,877	2,877
資本剰余金	1,859	1,859
利益剰余金	57,285	59,888
自己株式	△159	△159
株主資本合計	61,863	64,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,106	7,677
為替換算調整勘定	2,913	2,475
退職給付に係る調整累計額	1,514	1,487
その他の包括利益累計額合計	10,533	11,640
非支配株主持分	1,852	1,835
純資産合計	74,249	77,941
負債純資産合計	131,314	140,726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	15,143	19,774
売上原価	11,879	12,976
売上総利益	3,263	6,797
販売費及び一般管理費	2,483	2,818
営業利益	779	3,979
営業外収益		
受取利息	6	9
受取配当金	212	242
為替差益	-	437
その他	50	56
営業外収益合計	268	746
営業外費用		
支払利息	113	135
為替差損	30	-
デリバティブ評価損	144	-
その他	16	16
営業外費用合計	304	151
経常利益	743	4,573
特別損失		
固定資産除却損	10	12
特別損失合計	10	12
税金等調整前四半期純利益	733	4,560
法人税等	182	1,315
四半期純利益	551	3,245
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	531	3,235

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	551	3,245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	207	1,563
為替換算調整勘定	△1,004	△435
退職給付に係る調整額	△89	△27
その他の包括利益合計	△886	1,100
四半期包括利益	△335	4,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△336	4,341
非支配株主に係る四半期包括利益	0	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	基礎化学品 事業	精密化学品 事業	鉄系事業	商事事業	設備事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,963	11,943	533	175	526	15,143	—	15,143
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	287	525	812	△812	—
計	1,963	11,943	533	462	1,052	15,955	△812	15,143
セグメント利益	39	577	67	49	46	780	△1	779

(注) 1. セグメント利益の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	基礎化学品 事業	精密化学品 事業	鉄系事業	商事事業	設備事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,082	16,518	550	209	412	19,774	—	19,774
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	268	411	680	△680	—
計	2,082	16,518	550	478	824	20,454	△680	19,774
セグメント利益又は損失 (△)	71	3,752	104	39	△15	3,953	26	3,979

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額26百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,882百万円	2,315百万円